



市民のチカラ

市内で活躍する
さまざまな団体をご紹介します

一般社団法人

武蔵野ラグビースクール



長野県菅平高原で合宿を行った
ジュニア(中学生)チーム

小学校高学年チーム

実感できること。すべてのクラスで、男子も女子もハンディキャップのある子も一緒に練習に励み、試合には全員を出場させることがモットー。練習回数は少ないながらチームの結束力は高く、喜びをチームみんなで分かち合い、仲間をリスペクトする精神が育まれて

います。その精神が根付いたジュニアチームは、男女混合チームで女子もいきいきと活躍するチームに成長。さまざまな大会で好成績を残し、女子5名、男子4名が都選抜チームに選ばれました。「このような多様性のある魅力的なチームに育ってくれたのは、ジュニアチームを指導する岩間コーチをはじめ、スクールの精神を受け継ぐ多くの卒業生や保護者の方が指導者・運営スタッフとして関わってくれているからこそ」と、吉原さんさらに、グラウンドの提供やトップ選手との交流など、横河武蔵野アトラスターズ、横河武蔵野アルテミ・スターズをはじめとした地元の協力がある環境も大きいと話してくれました。

スクールの指導者であり保護者でもある岩間さんは、「子どもの頃にスクールに通っていました。その後、息子のスクール参加を機に復帰したんです。私はラグビーからたくさん喜びを経験し、人生に必要な学びを得ました。これからは子どもたちが成長するきっかけや環境を、ラグビーを通してつないでいきたいですね」と、笑顔で語ってくれました。

武蔵野ラグビースクールは、昭和42(1967)年に市教育委員会が立ち上げ、平成21(2009)年以降は民間任意団体として独立し、運営が行われています。日本代表の活躍でラグビー熱が高まった「ラグビーワールドカップ2015」以降は、入会希望者が絶えない人気ぶりです。現在は未就学児から中学生まで市内・外の250名以上が所属しています。

代表理事・校長の吉原さんと副校長の吉原さんが受け継ぐラグビイズムは、子どもたちがラグビーを心から「楽しかった」「頑張った」「やってよかった」と

全力で楽しむラグビーで
子どもたちの成長をサポート

一般社団法人 武蔵野ラグビースクール

現在、日本で最も長い歴史をもつラグビースクールの一つで、週1回、武蔵野中央公園スポーツ広場で練習。ラグビーの基本ルールを身に付けながら健やかな体と心を育てている。女子の登録数が多いのも特徴。幼児、小学校低学年・中学年・高学年、ジュニア(中学生)の全5クラス。詳細・お問い合わせはホームページから。



左から岩間さん、吉原さん、大野さん



小学校中学年チームの練習風景